

団体名：特定非営利活動法人シチズンスポーツ奥州

様式第5号（事務取扱関係）

市民提案型協働支援事業実績書

補助金コース	ステップアップコース	
事業の名称	JFAグリーンプロジェクトin奥州	
事業の成果	<p>■芝生育成の成果</p> <p>昨年度実施した冬芝のオーバーシード（追撒き）の効果がみられた。春季から冬芝が育成し、去年までであれば野芝やティフトン芝が育成し始めない5月には大きな穴もなく良好な状態で使用できる状態であった。</p> <p>芝生管理業者からは春の除草剤をまくと、冬芝は消えてしまうと聞いていたが、除草剤散布後も冬芝は育成しており7月位までは従来の野芝とのミックスで良好なグラウンド状態をキープすることが出来た。夏場に入ると冬芝のダメージがみられ色合いが落ちる時期があったが完全に枯れることなく繁殖がみられ気温が下がるとともに育成が復活し、このプロジェクトを始めて一番良い状態で秋を迎えることが出来た。やはり、岩手の気候では冬芝管理がされていることを実感できたシーズンとなった。</p> <p>■芝生管理業者との連携</p> <p>3年目となる行政、芝生管理業者との事前打合せを4月に行い、それぞれの役割分担と作業の協力体制を確認してから作業に入ったため効率的に進めることが出来た。砂の準備、刈草の処理、消毒回数の増など過去の経験を生かして管理に生かすことが出来た。特に刈草の処理については保管場所の設置等も含めて芝生管理業者に任せて安心して作業が出来た。</p> <p>■協働の提案テーブルの効果</p> <p>まちづくり推進課の主導により教育委員会水沢支所と予算を含めた事前協議が出来た。この結果、今までは補助事業の中で捻出していた砂や消耗品、肥料といった材料を市で予算化してもらうことが出来た。このことにより我々は作業をスムーズに進めることが出来、事業費の圧縮や継続性につながったことが大きかった。</p>	
事業の実施状況	実施期間	平成28年4月1日 から 平成29年3月31日まで
	実施場所	胆沢川桜づつみ多目的広場西側グラウンド（川上側）
	実施内容	<p>■「JFAポット苗方式芝生化モデル事業」を活用して整備したグラウンドを継続して管理する。</p> <p>■芝生の育成管理に必要な不可欠な作業（芝刈り、施肥、散水等）についてクラブマネージャーを中心に利用者などのボランティアを活用しながら行うとともに、秋の大会（アテルイ杯中学生大会）で荒れてしまったグラウンドの回復を図るためのオーバーシードを実施した。</p> <p>■今年で4年目を向かえた事業を振り返り、今後も持続可能なビジネスモデルとするため、行政、芝生管理業者、利用者のそれぞれの役割をさらに整理する。</p>

事業実施における役割分担	提案者が担う役割 芝生養生の基本作業（芝刈り、施肥、砂入れ等）の実施、ボランティアの受入コーディネート、ボランティア指導、事業のPR 等
	市が担う役割 芝生養生の基本作業に係る環境の整備、用具・消耗品（砂、肥料、スコップ、一輪車、バケツ）等の購入と配置 等
	その他の団体が担う役割（利用者、奥州サッカー協会等） 芝生養生の基本作業（芝刈り、施肥、砂入れ等）へのボランティア参加、利用後のグラウンドの手入れ、グラウンド利用事業への参加協力 等
事業の見通し	<p>桜つつみ多目的広場の芝生管理については、現状の市の芝生管理だけでは維持できない。芝生の状態を良好に保つため使用の時期を大幅に制限したり、グラウンドの状態に応じた細かい利用制限を設ける必要がある。</p> <p>しかし、大会運営や試合数の増加に伴いシーズンの長期化と利用時間の増加は避けられない状況となっている。</p> <p>これらの課題を解決するためには、この事業を継続していく必要があると考えている。今年度の利用者からも「とても良いグラウンドですね」という感想をいただき、これからも事業を継続していく必要性を感じている。</p> <p>しかし、今年度からは奥州サッカー協会の負担金が無くなり、NPO単独予算での事業実施となっていることから、より効率的で効果的な事業の展開を考えていかなければならない。</p> <p>幸い、事業に必要な消耗品等を市の予算で確保していただくことが出来たため、事業予算に余裕が出来、より効果的な作業に対して力を入れることが出来た。</p> <p>今後とも行政との役割分担を見直しながら、継続性と採算性を持って事業を継続していきたい。</p>
今後の課題	<p>■事業予算の確保</p> <p>事業を継続させていくためには、芝刈り、散水、施肥、砂入れ等の作業を継続して行っていかなければならない。これらの経費を市との役割分担で捻出しながら事業を進めなければならない。スポンサーなどの獲得も含めて検討を進めたい。</p> <p>■マンパワーの確保</p> <p>グラウンド1面の芝刈りを行うためには、1人でやると8時間位の時間を要する。特に芝生の育成が旺盛な時期は刈草の量が多くなり、運搬に時間を要してしまう。2人で軽トラックを併用して行くと4時間から5時間で作業を終えることが出来るため、ボランティアと軽トラックを準備しての作業をいつもできるようにしたい。</p> <p>■事業化</p> <p>現状のままでは、グラウンド1面を管理することが精一杯の状況にある。ラグビー面も含めて均一の管理を行うには設備投資と予算が必要となることから、将来的には事業委託として受ける方向性を模索したい。</p>

備考

- 1 事業の成果、事業の実施状況、事業の見通し及び今後の課題は、詳細に記入すること。
- 2 事業実施に関する成果品、写真その他の参考資料を添付すること。

様式第2号（事務取扱関係）

市民提案型協働支援事業収支決算書

1 収 入

（単位：円）

項 目	予算額	見込決算額	増減額	説 明
補助金	300,000	300,000	0	市民提案型協働支援事業補助金（ステップアップコース）
自己資金	300,000	187,403	-112,597	NPO法人自己資金
合 計	600,000	487,403	-112,597	

2 支 出

項 目	予算額	見込決算額	増減額	説 明
報 償 費	20,000	0	-20,000	芝生育成アドバイザー謝金
食 糧 費	30,000	5,100	-24,900	ボランティア作業参加者用飲物
消 耗 品 費	158,480	152,371	-6,109	事務用品 4,735 オーバーシート用種子 147,636
リ ー ス 料	153,720	153,720	0	芝刈り機 12,810円×12月
燃 料 費	60,000	30,822	-29,178	芝刈り機・移動車両用燃料費
役 務 費	177,800	145,390	-32,410	振込手数料 1,404 芝刈り機メンテナンス費 143,986
合 計	600,000	487,403	-112,597	